

令和2年生駒市教育委員会

第10回定例会 議案

令和2年10月26日

生駒市教育委員会



## 令和2年生駒市教育委員会(第10回)定例会議案目録

議案番号	議 案 名	項
報告第23号	臨時代理につき承認を求めることについて(令和2年生駒市議会第7回(9月)定例会提出議案の意見について)	1
報告第24号	令和2年生駒市議会第7回(9月)定例会提出議案の結果について	3
報告第25号	令和2年度幼稚園・保育園訪問の結果について	4
報告第26号	令和2年度小学校・中学校訪問の結果について	10
議案第35号	生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方の策定について	25
議案第36号	生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方の策定について	26



報告第23号

臨時代理につき承認を求めることについて

(令和2年生駒市議会第7回(9月)定例会提出議案の意見について)

令和2年生駒市議会第7回(9月)定例会提出議案の意見について、教育委員会を招集するいとまがなかったため、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則(昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号)第5条第2項の規定により、令和2年10月5日に臨時に代理したので、これを報告し、承認を求める。

令和2年10月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

【提出議案】

- ・財産の取得について(追加提案分)



議案第 80 号

財産の取得について

下記のとおり財産を取得することについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年4月生駒市条例第2号）第3条の規定により、議会の議決を求める。

記

- 1 取得する財産 授業用パソコン機器等
- 2 取得価格 49,610,000円
- 3 契約の相手方 大阪市福島区6丁目14番1号  
株式会社大塚商会 LA関西営業部  
LA関西営業部長 南英和
- 4 契約の方法 条件付一般競争入札

令和2年10月5日提出

生駒市長 小紫雅史

報告第24号

令和2年生駒市議会第7回（9月）定例会提出議案の結果について

令和2年生駒市議会第7回（9月）定例会提出議案の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第1号の規定により、次のとおり報告する。

令和2年10月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

【提出議案】

- ・財産の取得について（追加提案分）

【審議経過】

令和2年9月2日 開会

令和2年9月17日 決算審査特別委員会（市民文教分科会）

令和2年10月1日 決算審査特別委員会

令和2年10月5日 市民文教委員会

再開

【結果】

原案のとおり可決

報告第25号

令和2年度幼稚園・保育園訪問の結果について

令和2年度幼稚園・保育園訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、別紙のとおり報告する。

令和2年10月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

## ＜令和２年度定期幼稚園・保育園訪問報告＞

### 1 目的

教育長、教育委員、教育委員会事務局職員が幼稚園・保育園を訪問することにより、教育・保育課程の運用、保育内容、安全教育等、保育全般にわたり、幼稚園・保育園の実態に即して、指導助言を行い、各園が主体的に、より充実した教育・保育活動や特色ある園運営が推進できるよう支援する。

### 2 訪問日時及び訪問者

幼稚園・保育園名	訪問日時	訪問者
生駒台幼稚園	7/7 10:30～	中田教育長・寺田委員・神澤委員・西井委員・伊藤委員 奥田部長・坂谷次長・川田指導主事・松本指導主事
認定こども園 生駒幼稚園	7/9 10:30～	中田教育長・寺田委員・伊藤委員・川田指導主事・ 松本指導主事
壱分幼稚園	7/30 13:30～	中田教育長・寺田委員・伊藤委員・奥田部長・ 川田指導主事・松本指導主事
中保育園	7/30 15:00～	中田教育長・寺田委員・奥田部長・川田指導主事・ 松本指導主事
南こども園	8/24 16:00～	中田教育長・寺田委員・神澤委員・坪井委員・西井委員 伊藤委員・古島委員・奥田部長・坂谷次長・松田課長・ 川田指導主事・松本指導主事・八代課長補佐・ 小北課長補佐
桜ヶ丘幼稚園	9/11 10:30～	中田教育長・寺田委員・神澤委員・伊藤委員・ 川田指導主事・松本指導主事
なばた幼稚園	9/11 13:30～	中田教育長・寺田委員・神澤委員・伊藤委員・ 川田指導主事・松本指導主事
ひがし保育園	9/15 13:30～	中田教育長・寺田委員・坂谷次長・川田指導主事・ 松本指導主事
小平尾保育園	9/15 15:00～	中田教育長・寺田委員・坂谷次長・川田指導主事・ 松本指導主事
あすか野幼稚園	9/18 13:30～	中田教育長・寺田委員・伊藤委員・奥田部長・坂谷次長 松本指導主事
俵口幼稚園	9/30 10:30～	中田教育長・寺田委員・伊藤委員・坂谷次長・ 川田指導主事・松本指導主事

### 3 園からの説明の概要

#### <幼稚園>

生駒台幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6クラス160名と園児数が多い事に加え、支援を必要とする園児も17名いるので、学年間の連携を深め、職員全体で共通理解し3年間の発達を見通した教育活動を行っている。</li> <li>・体力作りで取り組んでいる「朝の体操」は子どもたちも楽しみにしており、今後も続けていきたい。</li> <li>・1園1校で歴史もあるので、地域のつながりが強く、園に対してもみなさんが協力的である。</li> <li>・コロナウイルス感染症対策を全職員で知恵を出し合い行っている。</li> <li>・今までのやり方にとらわれず、視点を変えて柔軟に取り組む姿勢ですすすめている。</li> <li>・コロナによって苦悩しているご家庭もあり、対応を考えている。</li> </ul>
認定こども園 生駒幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒幼稚園は幼稚園型のこども園であるという意識をもち取り組んでいる。保育時間が長くて、幼児教育を位置づけているという面が良くて選択する保護者もいる。職員が研修できる環境を整え、全体で資質向上していくことを目指したい。</li> <li>・協働活動が出来ることを考え、地域や保護者の協力を得られるよう活動の工夫をし、地域の力を活かした保育内容の充実を目指す。</li> <li>・コロナウイルス感染症対応のため、昨年までと一緒のことはできないが、職員一人一人がしっかり考えて取り組んでいる。</li> <li>・職員数が他園より多いので、学年主任会を行い、責任感をもって力を発揮してほしい。人間関係の網目をしっかり作っていく。</li> <li>・情報発信では単なる出来事だけを伝えるのではなく、子どもの育ちが伝わるようにしていく。</li> </ul>
壱分幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの幼小接続の取組を土台に学びを大切にしたい保育実践を進めていきたい。</li> <li>・豊かな心、健康な体を育むために外部講師を招いて保育内容の充実を図っている。</li> <li>・地域の中に生駒高校があるので、今後も継続して、互恵性のある交流活動を進めていく。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大対応として、新しい生活様式で、保育の直しや環境構成を職員全体で考えている。</li> <li>・夏休み預かり保育モデル事業を行っている。7月はほとんど毎日の利用があった。職員体制を考えながら、来年度の実施に向けて検証を行いたい。</li> </ul>

南 こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園5年目を迎え、完全給食制の実施や教育・保育内容の充実等、幼保一体による効果も見えてきている。また、0歳から就学前の子ども達が共に過ごすこども園への理解も進み、地域として子ども達を育てる土台づくりも進んできた。今年度はコロナ禍の中であるが、手紙やプレゼントを届けるなど、形を変えた交流の機会を工夫している。</li> <li>・小学校の接続も難しさはあるが、2学期以降の実施を目指し、少しずつ話し合いを始めている。</li> <li>・複数担任制の良さを活かし、子ども理解を深めながら、こども園としての特性を大切に、園運営をしていきたい。</li> </ul>
桜ヶ丘幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児が徒歩通園だということを活かし、保護者との連携を深めている。毎週の写真掲示や保護者に話をする「さくらっこトーク」を設けている。スライドショーは9月、1月の年2回行っており、保護者にも好評である。</li> <li>・今年度は、県の理解推進事業をうけて11月に発表を行う。今までに取り組んできた体力・食育を2本柱に実践研究をすすめている。外部の講師からも指導を受けながら、時間を有効に使い、全職員で協力してすすめている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策として行っていることを、保護者にも発信し、理解してもらいながら進めている。今できることを考え、いつもの活動を工夫しながら行えるように日々計画をしている。</li> </ul>
なばた幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年各1クラスで運営している。管理職は園長1人で、いろいろな立場の人がいる職員体制である。そのため、行事や避難練習など状況に応じた動きができるように日々意識している。</li> <li>・体力の向上をめざし、体力作りに積極的に取り組んでいる。</li> <li>・栽培活動の充実にも力を入れ、今回は収穫した野菜を持ち帰り、家庭で調理していただいた。</li> <li>・地域の方の協力が大きく、いろいろな行事で支えていただき園を応援してくださっている。</li> <li>・教育内容の情報発信に努めている。職員数が少ない為、担任にもツイッターやホームページに積極的に関わってもらっている。</li> </ul>

あすか野幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通園児が多く84名の園児が通園バスを利用している。保護者との連絡は電話などを利用して積極的に行っている。また、写真入の学年だよりを発行し、タイムリーに情報発信をしている。</li> <li>・バス当番があって臨機応変な対応が必要だが、職員一人一人の意識が高くチームワークよく保育をすすめている。</li> <li>・地域とのつながりが強く、スクールボランティアやあすか野防犯防災会の方などが園運営にかかわってくださっている。今年度はコロナの影響もあり十分な活動ができないが、ビデオなどを利用して工夫して取り組んでいる。</li> <li>・幼小接続は積極的に行っている。校長先生が声かけをしてくださり、地域の幼・保・こが公私に関係なく集まりすすめている。今年にできることを探り、これからも取り組んでいく予定である。</li> </ul>
俵口幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数が少なく、いろいろな立場の働き方であるが、それぞれがこころよく助け合い全員で協力して運営している。</li> <li>・小学校へ給食体験に行ったとき、1年生が黒板にメッセージを書いてくれたことを喜び、園児が返事の手紙を書いて届けた。運動会の練習も見学させてもらい、実際に交流は出来なくてもつながっているのだと確信した。職員間も、夏期休業中に小学校に手伝いに行ったことからつながり、1・2年生担任との関係が深まった。この機会を大切にして、今後も連携を深め「あそびを学び」につなげていきたい。</li> <li>・6月スタートで気になったが、全体的に出席率も高く、元気に登園してくれている。2学期も感染症対策を講じながら、できる工夫をして行事を行っていきたい。</li> </ul>

<保育園>

<p>中 保 育 園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒幼や生駒小との接続では今年度は難しい部分もあったが、少しずつ2学期からの取り組みに向けて話が進んでいる。手紙のやりとり、参観への参加など、できる形を考えたい。</li> <li>・体幹の弱さが課題であるので、日々の生活の中で遊ぶ経験を積み重ねるとともに、体操教室・サッカー・ラグビー教室を取り入れ体づくりを推進している。</li> <li>・職員や保育の質向上のために、保育の様子を写真にとり映像で見る形を取り入れたり、3～4か月に一度、人権チェックリストの実施を行っている。</li> </ul>
<p>ひ が し 保 育 園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナ禍の中、新しい生活様式を取り入れた保育内容、地域との交流を工夫している。プール遊びができなかった分、色氷作り、色水鉄砲など様々な夏の遊びを楽しむことができた。</li> <li>・食の経験が乏しい子どもが増えている。小さな畑ではあるが、職員による緑化チームを中心に土作りから取り組み、いろいろな野菜を栽培、給食に入れてもらい食べる経験をしている。</li> <li>・小規模保育所の連携園となっているので、今年度より連携施設との申し送りや交流を行いたいと考えている。</li> </ul>
<p>小 平 尾 保 育 園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の重点目標として、人権保育の取り組みの充実をあげ、一人一人を大切にした保育、職員の人権グループワーク等に力を入れている。</li> <li>・3、4、5歳児の縦割り保育が園の特色であるが、今年度は新型コロナウイルス対策の為、年齢別保育を行っている。</li> <li>・園庭開放を事前予約制にしたり、高齢者施設へ手作りメッセージや録音した歌を届けるなど、新しい生活様式の中でできる範囲の地域交流を工夫している。</li> <li>・医療ケアが必要な園児が1才児に在籍、主治医や家庭との連携を取りながら、保育、支援を行っている。</li> </ul>

報告第26号

令和2年度小学校・中学校訪問の結果について

令和2年度小学校・中学校訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、別紙のとおり報告する。

令和2年10月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

## ＜令和２年度定期学校訪問報告＞

### 1 目的

教育委員、教育委員会事務局が学校訪問することにより、学校経営、教育課程の運用、学習指導、生徒指導、安全教育、学校評価等、学校教育全般にわたり、学校の実態に即して、指導助言や研究協議を行い、各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校経営が推進できるよう支援する。また、適切な人事配置ができるよう、教職員の人事に関する状況を把握する。

### 2 小学校

#### ①訪問日時並びに訪問者

学校名	訪問	訪問者
生駒小学校	9/28	中田教育長、飯島委員、神澤委員、伊藤委員、奥田部長、山本課長、前田課長、八代課長補佐、花山指導主事、佐藤指導主事
生駒南小学校	10/1	中田教育長、飯島委員、寺田委員、神澤委員、伊藤委員、奥田部長、前田課長、八代課長補佐、駒井指導主事、小泉指導主事
生駒北小学校	9/23	中田教育長、奥田部長、伊藤委員、日高課長補佐、花山指導主事、佐藤指導主事
生駒台小学校	9/9	中田教育長、神澤委員、西井委員、伊藤委員、古島委員、山本課長、前田課長、佐藤指導主事、小泉指導主事
生駒東小学校	7/16	坂口管理主事、中田教育長、飯島委員、レイノルズ委員、伊藤委員、奥田部長、八代課長補佐、佐藤指導主事
真弓小学校	9/18	中田教育長、坪井委員、西井委員、伊藤委員、奥田部長、山本課長、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
俵口小学校	7/22	坂口管理主事、中田教育長、寺田委員、神澤委員、伊藤委員、奥田部長、前田課長、日高課長補佐、佐藤指導主事、小泉指導主事
鹿ノ台小学校	9/23	中田教育長、西井委員、伊藤委員、奥田部長、山本課長、八代課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
桜ヶ丘小学校	9/11	坂口管理主事、中田教育長、寺田委員、神澤委員、伊藤委員、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
あすか野小学校	9/18	中田教育長、坪井委員、西井委員、伊藤委員、奥田部長、山本課長、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
壱分小学校	9/16	坂口管理主事、中田教育長、神澤委員、伊藤委員、日高課長補佐、花山指導主事、小泉指導主事
生駒南第二小学校	10/12	中田教育長、伊藤委員、奥田部長、八代課長補佐、花山指導主事、佐藤指導主事

②ヒアリング内容

<p>生駒小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校休業後、不登校傾向の児童が増えた。生活リズムが戻らずに、遅刻する児童も多い。</li> <li>・学習習熟度の差が大きく、1年生で鉛筆の持ち方がまだ不安な児童や2年生で引き算でつまづいている児童などもある。学習支援員等による支援で個人に応じた指導を進めている。</li> <li>・確かな授業技術を持つ教員を学年主任に据え、若手教員の授業力向上を図っている。</li> <li>・留守番電話の設置、19時クロックアウト、定時退勤日の設定など、終業時刻の徹底に心がけている。</li> </ul>
<p>生駒南小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人が自らの持つ力を生かしながら生き生きと活動する学校づくりを進めている。</li> <li>・職員の心身の健康維持と職場環境の改善を図り、働き方改革を進めている。</li> <li>・国語科を中心に研修を進めている。特に、今年度は「書く力」を中心に、低学年を通して系統立てた取組を計画。</li> <li>・チームとして連携・協働する組織づくりを意識し、個ではなく組織として情報交換を密にし、様々な課題と向き合いたい。</li> <li>・人間関係を大切にできるサポート体制を整えたい。</li> <li>・老人会、幼稚園、PTA以外の、地域との活動を充実させたい。</li> <li>・保護者の問題が子どもにも影響が出ている。配慮を要する児童・家庭への支援を大切にしたい。</li> <li>・児童のコミュニケーション能力の低さが課題と感じる教師が多く、自分の思いを上手に相手に伝える力や、トラブルを自分たちの力で解決していく力などを向上させたい。</li> </ul>
<p>生駒北小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育5年目になる。算数、外国語、書写、体育等で中学校教師が小学校に乗り入れ授業やTTをするなど、特色を生かした指導体制を作っている。しかし、理科も乗り入れ授業をしたかったが、教員の手が回らない。特別支援の児童生徒もいる中、教員数が不足、厳しい状況がある。</li> <li>・小学生が中学生を見て学ぶことができている。中学生も、小学生に見られていることを意識しており、良い関係が築かれている。</li> <li>・異学年交流をすることで、自己有用感を得ることができている。</li> <li>・高山地区などの地域と共に支え合う学校づくりを推進するため、その基盤として、「家族」のように共に学び、成長する教職員集団を心掛けている。</li> <li>・若手教員を中心に、日常的なICT機器の活用ができている。</li> </ul>

生駒台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援を必要としている児童がとても多く、児童を取り巻く家庭へのサポートも必要。校内での支援体制を整え、関係機関との連携も密にしているが、SCや相談窓口の充実がさらに求められる。</li> <li>・ 校務支援システムを活用し、職員朝礼などの時間を効率的に短縮し、児童とのかかわりの時間を確保している。</li> <li>・ 50代、60代の職員が約半数という職員構成の中、円滑な公務の引継ぎと若手教員の育成が課題。</li> </ul>
生駒東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員構成は、若手、ミドルリーダー、経験豊富な教員、とバランスがよく、各学年にうまく配置できている。しかし、女性教員が多く、来年度転勤を控えている男性職員が数名いることもあり、来年度は男性教員の配置を希望する。</li> <li>・ 重点目標を3部会で協議し、具体的な改善方法を随時講じつつ、その成果についてアンケートや情報を活用して、自己評価を行っている。</li> <li>・ 職員には小さなことでも報告するように伝え、また、管理職から声をかけることにも努めながら、情報共有、また教員が孤立しないように配慮している。</li> <li>・ 50%の職員が月45時間以上の時間外勤務をしている状況なので、時短意識を高めていくことが今後の課題である。</li> </ul>
真弓小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月～5月はコロナ対応で学校全体が疲弊していた。</li> <li>・ 授業動画については、チームを組んで不安や困難なく作成できた。できた喜びや、若手がベテランの力になれたと感ずることができ、良い機会になった。</li> <li>・ チーム真弓を意識できる職場づくりに努めている。</li> <li>・ コロナ禍の影響でケアが必要な児童もいるが、深刻な状況ではない。</li> <li>・ コロナ対応マニュアルから学校の行事等を見直ししている。</li> <li>・ 音楽会を中止したり、運動会を例年通り実施できなかつたりする。</li> <li>・ 2学期からはコロナ対応をした上で出前授業や保護者によるミシンボランティアなども再開していく。</li> </ul>
俵口小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援や配慮を要する児童が多い中で、特別教育支援員や学びのサポーターの力を借りながら取り組んでいる。</li> <li>・ 勤務状況を可視化し、長時間勤務の解消に努めていく。</li> <li>・ 教員の授業力をつけ、子どもたち一人ひとりに対応できるようOJTやミドルリーダーの育成に取り組んでいる。</li> <li>・ 学校評価推進計画を学校内で共有し取り組んでいる。</li> <li>・ 道徳の充実に努めている。書くことに焦点をあて、議論する道徳を打ち出し取り組んでいる。</li> <li>・ 「共に育つ」を目標に運営方針を設定している。</li> </ul>

鹿ノ台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが相談しやすい教職員となるように取り組んでいる。</li> <li>・開門が7：50になっている。時間外勤務が月45時間を越えないようにしたい。</li> <li>・若手の育成のためにも、教科主任等を若手が担うこともある。</li> <li>・報告、連絡、相談をしっかりとできるように取り組んでいる。</li> <li>・学校関係者による評価を学期に1度程度行っている。</li> <li>・里山学習などがコロナ禍の影響で実施できていない。今後開会する予定。</li> <li>・芝生の運動場の管理が難しい。種まきのタイミングなどをずらすことで、体育の授業に影響が出ないようにしている。</li> </ul>
桜ヶ丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、縦割り活動で様々なことに取り組んでいるが、今年度は三密を避けるために同じようには実施できていない。しかし、できるかできないか、ではなく、「どのようにしたらできるか」という視点から考えるようにしている。</li> <li>・学校休業の影響もあってか、低学年に幼さが目立ち、複数体制を組んでいる。</li> <li>・「笑顔いっぱい为学校・学級づくり」を今年のスローガンに、知・徳・体に繋がるよう取り組んでいる。</li> <li>・職員構成としては、年齢の二極化が解消されつつあるが、産休・育休のピークを迎えており、講師も多く勤務している。今後を見据えた校務分掌などの配置をおこなっている。</li> </ul>
あすか野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりを月2回、内1回はデジタルで発行している他、ツイッターなども活用し、学校活動を地域に発信している。</li> <li>・若手教員の育成のため、生徒指導の三機能を基盤とした授業づくりをしている。一人1回の授業公開を計画している。書画カメラを各教室に整備するなど、ICT機器を活用して、子どもの学習意欲の向上を図っている。</li> <li>・あいさつ指導について、学校だけでなく家庭でも取り組んでもらえるよう発信し、成果がでてきている。</li> <li>・上中校区地域ぐるみ推進委員会の中で、あすか野小学校地域学校協働本部を置き、地域との協働に向けて地域人材を活用している。地域と共にある学校づくりのため、目指す子ども像を共有している。</li> </ul>

壱分小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の年齢構成もバランス良く配置していただいている。(30代男7・女6、40代男4、女5)</li> <li>・ 学校運営協議会の設置、地域学校協働活動により、地域の方との交流を進めていきたい。コロナ禍でなかなか難しいところもあるが、先日は壱分学級の子どもと地域の方で畑作りを行った。学校運営協議会の第2回目は10月7日に予定しており、団体間の横のつながりを強化していきたい。</li> <li>・ 校務支援システムの活用により、会議資料のペーパーレス化や、オンライン職員会議を実践。スクールサポートスタッフの効果も大きく、職員の残業時間が大きく減少した。月45時間を超える職員がほとんどいなくなった。</li> </ul>
生駒南第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模校で職員の絶対数が少なく、一人当たりの仕事量が多い。勤務時間も超過しがちである。また、職員の男女比が1：2で、更に男性職員の中で教頭先生が一番年下という構成。今後ミドルリーダーの育成が急務である。</li> <li>・ ほとんどの学年が単学級であり、児童や保護者間でトラブルがあっても、クラス替えによる解消ができないなど、生徒指導上の弊害がある。</li> <li>・ チーム二小として、人権教育を中心とした研修の充実や職員間の報連相の徹底を図っている。</li> <li>・ 学校休業による影響もあるのか、1年生で集団生活に馴染めていない児童もいる。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症予防のため、学級閉鎖した学年については、週3回7時間授業を実施し、授業時間数を確保している。また、学級閉鎖中に2回、Meetを使ったオンライン学活も実施し、担任と学級児童がつながることができた。</li> <li>・ 給食リフトが経年劣化で反応が悪い。改善してほしい。</li> <li>・ 放課後学びタイム等を活用し、基礎基本の定着を図っている。また授業のユニバーサルデザイン化を図り、全ての児童が分かったと思える授業づくりを進めている。</li> </ul>

③前年度と今年度の重点目標

	R 1 重点目標	R 2 重点目標
生駒小学校	①自ら学び考える子の育成 ②他人を思いやる温かい心をもつ子の育成 ③健康でたくましい子の育成	①自ら学び考える子の育成 ②他人を思いやる温かい心をもつ子の育成 ③健康でたくましい子の育成

生駒南小学校	①「健やかな体」の育成 ・「G n P（体幹を鍛える取組）」の充実・発展、早寝早起き朝ごはん ②「豊かな心」の育成 ・規範意識の向上、思いやりの心の育成、あいさつ運動 ③「確かな学力」の育成 ・読書活動推進、ICT活用、授業改善	①「健やかな体」の育成 ・「G n P（体幹を鍛える取組）」の充実・発展、体力向上の取組 ②「豊かな心」の育成 ・規範意識の向上、思いやりの心の育成、あいさつ運動の実施 ③「確かな学力」の育成 ・基礎学力の定着と充実、コミュニケーション能力の育成
生駒北小学校	①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 ア.きめ細やかな指導 イ.基礎・基本の定着 ウ.読書活動の充実・推進 エ.体験活動による深い学びの充実 ②伝統文化に触れる学習の充実 ③家庭や地域と共に歩む学校づくり	①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 ・小中教員の乗り入れ授業 ・確かな学力 ②伝統文化に触れる学習の充実 ・茶釜の里としての地域性を生かす ③家庭や地域と共に歩む学校づくり ・地域教育力の活用
生駒台小学校	①子どもが輝く学校 ②挑戦する学校 ③信頼される学校	①子どもが輝く学校 ②挑戦する学校 ③信頼される学校
生駒東小学校	①あたたかい学校・学級づくりの推進 授業のユニバーサルデザイン化を推進し、仲間に対する温かい気持ちを育む ②体力づくりの推進 運動の楽しさを知り、進んで運動に取り組む子を育てる ③考え、論議することを通して道徳性を養う授業の工夫 よりよく生きようとする心や態度を育む ④自律性を高める指導の工夫 自他の安全を守る意識と行動力を身につけさせる	①あたたかい学校・学級づくりの推進 仲間に対するあたたかい気持ちを育む ②体力づくりの推進 運動の楽しさを知り、進んで運動に取り組む子を育てる ③言語活動を通して、学び合う授業の工夫 自分の考えをもち表現できる子を育てる ④安全教育の推進 自他の安全を守る意識と行動力を身につけさせる

真弓小学校	①人とのかかわりを大切にしながら ②体力づくりの推進 ③あたたかい心を育む ④考える力の育成	①人とのかかわりを大切にする ②体力づくりの推進 ③あたたかい心を育む ④考える力の育成
俵口小学校	①考えをみがく ②心をみがく ③仲間とみがく	①考えをみがく ②心をみがく ③仲間とみがく
鹿ノ台小学校	①基本的生活習慣の確立 ・学校生活の一日の姿勢を整える ・心豊かな子どもの育成 ②基礎学力の定着 ・学びの姿勢を整える ～学習規律の確立～ ・家庭生活の姿勢を整える	①基本的生活習慣の確立 ・学校生活の一日の姿勢を整える ・心豊かな子どもの育成 ②基礎学力の定着 ・学びの姿勢を整える ～学習規律の確立～ ・家庭生活の姿勢を整える
桜ヶ丘小学校	「笑顔いっぱいの学校・学級づくり」 をめざして ①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成	夢の実現に向かって努力し、共に学ぶ喜びを味わえる子の育成 －自立と共生－ 「笑顔いっぱいの学校・学級づくり」 をめざして ①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成
あすか野小学校	①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的生活習慣の定着	①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的生活習慣の定着

壱分小学校	①学力向上の推進 主体的に、自分の思いや考えを伝え合う力の育成 ②規範意識の推進 規律ある行動ができる子どもの育成 ③仲間づくり、集団づくりの推進 自分も他の人も大切にできる子どもの育成 ④体力向上の推進 楽しみながら運動に親しむ態度の育成	①学力向上の推進 主体的に、自分の思いや考えを伝え合う力の育成 ②規範意識向上の推進 規律ある行動ができる子どもの育成 ③仲間づくり、集団づくりの推進 自分も他の人も大切にできる子どもの育成 ④体力向上の推進 楽しみながら運動に親しむ態度の育成
生駒南第二小学校	①あいさつをする ②なかまづくり ③すすんではたらく ④読み書き計算の力を高める ⑤体験を通して深く学ぶ ⑥進んで本に親しむ ⑦楽しんで歌を歌う ⑧楽しんで体を動かす	①あいさつをする ②なかまづくり ③すすんではたらく ④読み書き計算の力を高める ⑤体験を通して深く学ぶ ⑥進んで本に親しむ ⑦楽しんで歌を歌う ⑧楽しんで体を動かす

### 3 中学校

#### ①訪問日時並びに訪問者

学校名	訪問	訪問者
生駒中学校	9/30	中田教育長、寺田委員、伊藤委員、前田課長、佐藤指導主事、小泉指導主事
生駒南中学校	8/31	中田教育長、伊藤委員、山本課長、日高課長補佐、駒井指導主事、佐藤指導主事
生駒北中学校	9/23	中田教育長、伊藤委員、奥田部長、日高課長補佐、花山指導主事、佐藤指導主事
緑ヶ丘中学校	10/12	中田教育長、伊藤委員、奥田部長、八代課長補佐、花山指導主事、佐藤指導主事
鹿ノ台中学校	9/23	中田教育長、伊藤委員、奥田部長、山本課長、駒井指導主事、佐藤指導主事
上中学校	7/20	坂口管理主事、中田教育長、坪井委員、伊藤委員、古島委員、奥田部長、前田課長、日高課長補佐、花山指導主事、佐藤指導主事
光明中学校	9/9	中田教育長、神澤委員、西井委員、伊藤委員、古島委員、山本課長、前田課長、佐藤指導主事、小泉指導主事
大瀬中学校	7/29	中田教育長、飯島委員、神澤委員、坪井委員、レイノルズ委員、西井委員、伊藤委員、古島委員、前田課長、八代課長補佐、佐藤指導主事

#### ②ヒアリング内容

生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども（生徒）も大人（保護者、教職員等）もいきいきと活動する学校を目指して取り組んでいる。</li> <li>・教職員の二極化が激しく、ミドルリーダーとなる40代が極端に少ない。現在、講師の先生方にも頑張ってもらっているが、教員採用試験に合格していることもあり、来年度の担任をもつ人材が不足しそうである。</li> <li>・要対協にあがっている生徒や準要保護・要保護家庭が多いが、教員が愛情を持って接し、支えている。</li> <li>・過年度よりトランスジェンダーの生徒もおり、学校として様々な配慮を検討しながら対応してきた。カミングアウトした生徒に対して、生徒ら自身も柔軟に理解し、受け入れていた。今年度より男女混合名簿を使用し、また制服の見直しも進めている。</li> <li>・体育大会開催に向けて準備中。保護者向けにオンライン配信なども検討したが、個人情報保護の観点から、別の機会に保護者に観てもらえるよう計画している。</li> <li>・吹奏楽部3年生の最後の演奏の場を準備することができた。</li> </ul>
-------	---

生駒南中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校再開後、授業数確保のため、かなりの時間を教科授業にあてている。</li> <li>・学級担任、特別支援学級担任が全員35歳以下であり、中堅教諭の少なさが目立っている。しかし、若手が互いに相談できる時間を意識的に設けている。</li> <li>・地域の方々はとても学校教育活動に理解、協力をしてくださっている。</li> <li>・S W O T分析により、「強み」「弱み」「機会」「脅威」の観点から分析を行い、課題解決を図っている。具体的な方策を考え実施している。</li> <li>・アンケート調査分析により、自己有用感、規範意識が生駒市の平均より低い結果が出ている。アンケートに取り組む姿勢など、いくつかの要因が考えられるが、生徒と教員が希薄な関係になっていないか、という視点から、今後の課題を見出したい。</li> </ul>
生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育5年目になる。情報の共有に加え、小学校への乗り入れ授業などを行っている。ただし、教員数が不足しており、限られた教科での実施となっている。</li> <li>・高山地区などの地域と共に支え合う学校づくりを推進するため、その基盤として、「家族」のように共に学び、成長する教職員集団を心掛けている。</li> <li>・中学生は、小学生が見ていることを意識しており良い関係が築かれている。</li> <li>・異学年交流をすることで、自己有用感を得ることができている。</li> <li>・読書離れが課題である。</li> </ul>
緑ヶ丘中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の危機管理意識の向上、情報共有体制の確立に力を入れている。</li> <li>・不登校生徒の対応としてGルームを運営。教員の負担は増えるが、学校内で、不登校の生徒個々へのアプローチができる大事な場所となっている。</li> <li>・学校休業中に取り組んだ動画作成をきっかけに、学校再開後も職員のICT機器活用が進んでいる。今後も研修をすすめていきたい。</li> <li>・校務支援システムを活用している。一刻も早く、高等学校との連携体制が整い、業務改善ができることを望んでいる。</li> <li>・行事などが無い中で、自己肯定感を高めるための取組として、道徳やキャリア教育に力を入れている。</li> <li>・50代以上の教職員が多く、40代の教員がほとんどいない。ミドルリーダーの育成が急務である。</li> </ul>
鹿ノ台中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中同じ方向を向いて、地域と協力して教育活動を進めていきたい。</li> <li>・一人ひとりが生き生きと輝いている学校、つまり、元気いっぱい挨拶いっぱいの学校を目指している。</li> <li>・学力だけでなく、いろんな場面で生徒が前に出て活躍できる機会を大事にしている。</li> <li>・環境教育に力を入れている。</li> <li>・講師の割合が多く、育休・産休も重なっている。今後、ミドルリーダーを担っていける人材が必要。</li> </ul>

上 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた課題に懸命に取り組む力は非常に高い。しかし、自ら課題を考え立ち向かうことは苦手な生徒が多い。今後の社会を生きる力をつけていることが大事。</li> <li>・地域に開かれた学校づくりのため、学校運営協議会を立ち上げ、スタートするところ。T w i t t e rなどを通じて、発信もしている。</li> <li>・今後は、I C Tと学校運営協議会をうまく活用し、eライブラリも駆使しながら、学力に心配な子どもに対する取組など進めたい。</li> <li>・職員構成がアンバランスで、50代以上のベテラン教員が中心となって、学校を動かしている面がある。中堅、若手を中心に移行していくことが必要。</li> <li>・授業において、大型モニターの使用頻度が非常に高い。</li> </ul>
光 明 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒市の通級指導教室を校内に設置し、特別支援教育の推進と充実に向けた取組を進める。</li> <li>・学校力向上WG（ワーキンググループ）を設置し、全学校教育活動の点検と見直し、教職員の学校運営参画意識の深化・発展に努めている。</li> <li>・校内に不登校生徒が登校できる教室「あかり」を設置し、教員が個別の指導にあたっている。一方で、特別支援生徒への授業への入り込みも併せて、教員一人当たりの時間数も増加していることは課題のひとつ。</li> <li>・学校長の手書きの通信などを発行し、学校の様子や教職員の思いを生徒や保護者、地域の方々に伝える努力を続けている。</li> <li>・生徒と職員の思いを届ける取組として、昨年度の卒業式に参加できない在校生の歌声を休校前最後の日に中庭で録音し、卒業式で流した（旅立ちの日に）</li> </ul>
大 瀬 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の危機管理意識の向上に力を入れている。本年度は、学校休業中および学校再開にあたって、コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、様々な対策を職員のアイデアを交えて行っている。</li> <li>・ここ数年、50代以上の教職員数が増加傾向にあり、ミドルリーダーの育成が急務である。</li> <li>・人事評価の活用により、教職員の得意分野を伸ばし、意欲を引き出すようにしている。また、教職員が一人で悩みを抱え込まないよう、校務文章内や学年で連携を図っている。</li> <li>・出退勤時間の把握や教職員の業務の効率化、有効な時間の活用を呼び掛けている。</li> </ul>

③前年度と今年度の重点目標

	R 1 重点目標	R 2 重点目標
生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生き生きと活動する学校づくり</li> <li>②自ら学び考える力を育てる学習指導</li> <li>③豊かな人間性を育み、生き方を深める指導</li> <li>④生命を大切にする心や人権を尊重する人権教育の充実</li> <li>⑤明るく健やかな生活形成とたくましい体力づくり</li> <li>⑥教職員の資質向上と機能的で安全な環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「わかった」生徒の声が弾む授業実践</li> <li>②豊かな人間性を育み、明るく健やかな生き方を深める指導</li> <li>③生命を大切にする心や人権を尊重する人権教育の充実</li> </ul>
生駒南中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「地域に誇れる生徒・学校づくり</li> <li>②主体的・対話的で深い学びの推進（分かる授業づくり、学力向上）</li> <li>③道徳教育の推進</li> <li>④「あいさつ日本一から世界一へ」の推進</li> <li>⑤美しい学校環境づくりの推進～ザ・リノベーション～</li> <li>⑥積極的な生徒指導の推進（いじめ相談活動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域、保護者に信頼される学校づくりの推進</li> <li>②人権尊重の精神、豊かな人間性（心）の育成</li> <li>③積極的、開発的な生徒指導の推進。（いじめ対応・教育相談）</li> <li>④わかる授業の構築（生徒が安心できる空間をつくる）</li> <li>⑤たくましい心身の育成</li> <li>⑥美しい環境づくりの推進</li> </ul>
生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進</li> <li>ア.きめ細やかな指導</li> <li>イ.基礎・基本の定着</li> <li>ウ.読書活動の充実・推進</li> <li>エ.体験活動による深い学びの充実</li> <li>②伝統文化に触れる学習の充実</li> <li>③家庭や地域と共に歩む学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進</li> <li>・小中教員の乗り入れ授業</li> <li>・確かな学力</li> <li>②伝統文化に触れる学習の充実</li> <li>・茶釜の里としての地域性を生かす</li> <li>③家庭や地域と共に歩む学校づくり</li> <li>・地域教育力の活用</li> </ul>

<p>緑ヶ丘中学校</p>	<p>① ICT教育を昨年度以上に推進し 研究・実践を深める ②読書活動の推進を図る ③あいさつ運動や清掃活動について 取り組み、生徒の規範意識を高める ④校区内・市内の様々な機関と連携し、 開かれた学校づくりをする ⑤本校の3大行事である、体育祭、 文化祭、音楽祭を充実させ生徒の 自主活動の機会を増やす ⑥熱中症対策、部活動の休養日の設 定など生徒・教員の健康面に配慮 する</p>	<p>①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業・魅力ある授業づくり の推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導 の充実 ④命を大切に作る心や人権を尊重す る教育の充実 ⑤保護者、地域との連携 ⑥組織力の向上</p>
<p>鹿ノ台中学校</p>	<p>①「主体的・対話的で深い学び」の 推進 ②主体的な学びの実現に向けた授業 研究の推進 ③道徳教育の推進 ④「社会に開かれた教育課程」の推進 ⑤心を耕す教育の推進 ⑥「目指せ あいさつ・そうじ日本 一運動」 ⑦環境教育の推進（エコスクール）</p>	<p>①「主体的・対話的で深い学び」の 推進 ②主体的な学びの実現に向けた授業 研究の推進 ③道徳教育の推進 ④環境教育の推進（エコスクール）</p>
<p>上中学校</p>	<p>①教科指導の充実 授業力の向上、授業改善を図る ②生徒指導の充実 規範意識を醸成し、積極的な生徒 指導を推進する ③命の教育・人権教育の充実 人を尊重する仲間づくり、心が通 い合う挨拶を推進する</p>	<p>①教科指導の充実 授業力の向上、授業改善を図る ②人権教育の充実 仲間を尊重する仲間づくり、心が 通い合うあいさつの推進 ③地域に開かれた学校づくり 地域で育つ・地域に生きる子ども たちの意識を変える</p>
<p>光明中学校</p>	<p>①「笑顔」と「活気」に満ちあふれ る学校 ②「優しさ」と「温もり」に包まれ る学校 ③保護者や地域から信頼される学校</p>	<p>～「2020TEAM光明」更に豊 かな“森づくり”を目指して～ ①「笑顔」と「活気」に満ちあふれ る学校 ②「優しさ」と「温もり」に包まれ る学校 ③保護者や地域から信頼される学校</p>

大 瀬 中 学 校	①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実 ④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実 ⑤保護者、地域との連携 ⑥組織力の向上	①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実 ④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実 ⑤保護者、地域との連携 ⑥組織力の向上
-----------------------	--	--

議案第 35 号

生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方の策定について

生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方の策定について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第2条第1号の規定により、別冊のとおり提出する。

令和2年10月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

議案第 36 号

生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方の策定について

生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方の策定について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第2条第1号の規定により、別冊のとおり提出する。

令和2年10月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

